

# 2023年度第2四半期決算について

2023年11月7日

株式会社NTTドコモ

あなたと世界を変えていく。

NTT  
docomo

IFRS

(単位：億円)

	2022年度 上期	2023年度 上期	対前年同期比	
			増減	増減率
営業収益	28,998	29,464	+ 465	+ 1.6%
営業利益	5,765	5,808	+ 43	+ 0.7%
EBITDA	9,088	9,295	+207	+ 2.3%
当社株主に帰属する 四半期利益	4,198	4,044	▲154	▲3.7%
設備投資	2,774	2,601	▲173	▲6.2%

第2四半期  
セグメント別実績

- ✓ 営業収益は法人とスマートライフで対前年増収
- ✓ 営業利益はスマートライフとコンシューマ通信で対前年増益

IFRS

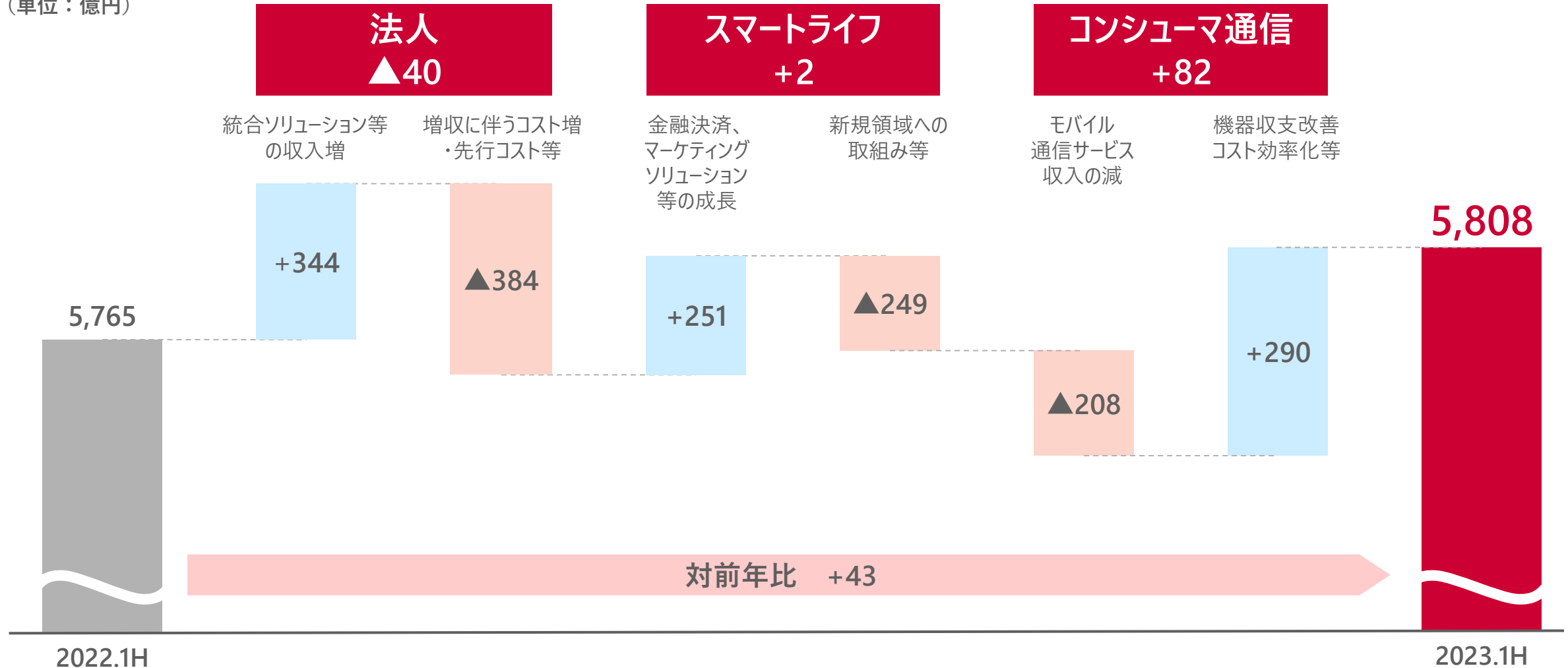
(単位：億円)

		2022年度 上期	2023年度 上期	対前年同期比	
				増減	増減率
法人	営業収益	8,450	8,794	+ 344	+ 4.1%
	営業利益	1,462	1,421	▲40	▲2.8%
スマートライフ	営業収益	4,974	5,210	+ 235	+ 4.7%
	営業利益	1,032	1,034	+ 2	+ 0.2%
コンシューマ通信	営業収益	16,843	16,703	▲140	▲0.8%
	営業利益	3,271	3,353	+82	+2.5%

第2四半期  
営業利益増減

✓ 営業利益は法人セグメントが減益となったが、  
コンシューマ通信・スマートライフセグメントの増益により対前年増益

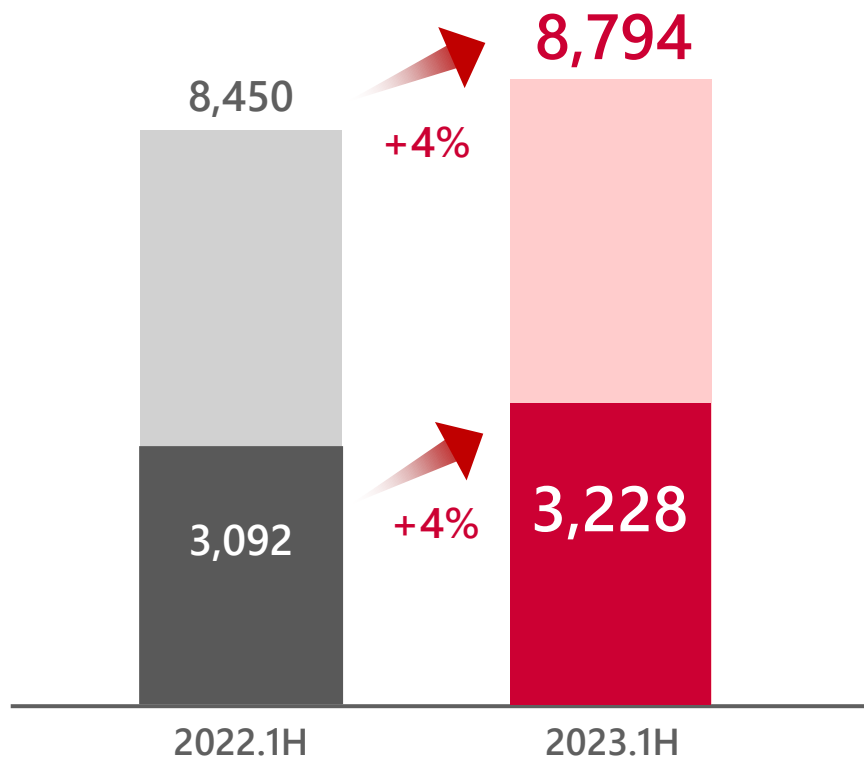
(単位：億円)



# ✓ 統合ソリューションの拡大に向けたネットワークサービスの強化

## 統合ソリューション収入

- : 法人事業収入 (単位: 億円)
- : 統合ソリューション収入 (単位: 億円)



## ニーズの高いSASEソリューションをサービスとして提供

モバイル(5G対応)・固定通信とクラウド型セキュリティが融合した統合ネットワークサービスを提供し、スピーディにセキュアなICT環境構築、トータルコスト低減を実現



✓ 社会・産業DXの実現に向けたサービス・ソリューションの強化

IoTソリューション

業界別IoTソリューションの案件拡大など、統合効果が順調に進展。国内外を含めて、IoTソリューションをさらに推進

鉄道業界



LED灯一体型ネットワーク監視カメラなどの鉄道業界向け案件が拡大



自動車業界



BMWグループとグローバルでの車へのモバイルコネクティビティの提供に関する契約を締結

ICT環境サポート

ICTのお困りごとをサポートする「まるごとビジネスサポート」にIT資産管理、セキュリティ相談を追加し、中小企業におけるICT担当者不足の解決に更に貢献



23年9月より提供開始

「IT資産管理 by ジョーシス」

IT資産を一元管理し業務効率化、コスト最適化、セキュリティ強化を実現



23年10月より提供開始

「セキュリティ相談」

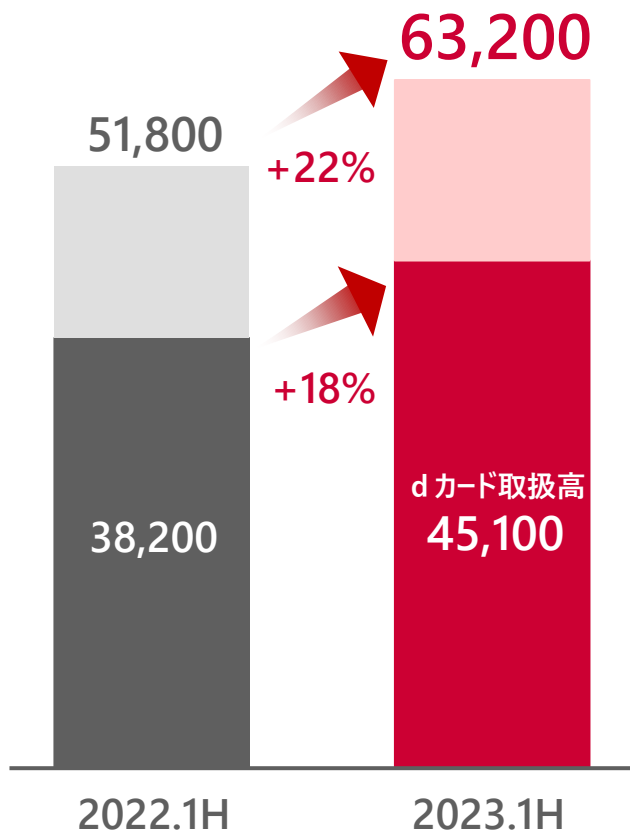
サイバーセキュリティリスクを可視化し適切な対策を提案



- ✓ 金融・決済取扱高は順調に拡大
- ✓ サービス強化とデータ活用のかげ合わせにより事業成長を加速

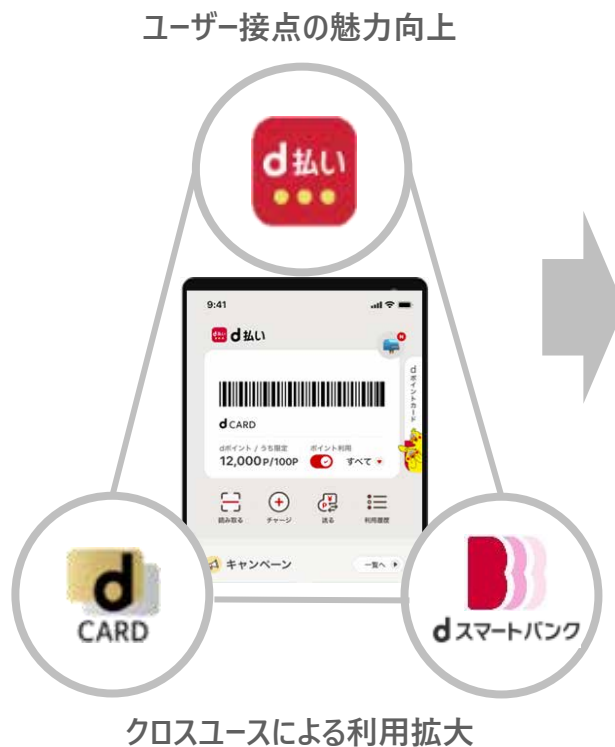
## 金融・決済取扱高

(単位：億円)



## 金融サービスの強化

データを活用し、一人ひとりに最適な金融商品をタイムリーにご提案



### 投資

23年10月

**MONEXとの資本業務提携契約を締結**

- ・手軽で簡単な資産形成サービス
- ・両社のデータ活用による最適な商品提案
- ・投資情報・金融教育コンテンツ
- ・AIによるお客さまサポート
- ・次世代金融商品

### 融資



dスマホローン

- ・22年7月にdスマホローンを提供開始し、累計貸付実行額200億円を突破

23年7月

### 保険



- ・はなさく生命との協業によるdポイント付き生命保険提供開始

23年8月

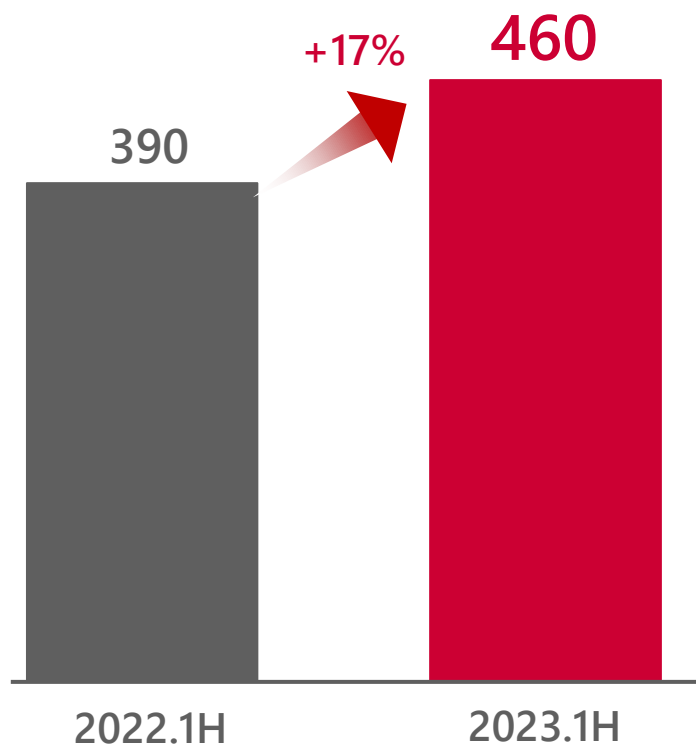
- ・d払いアプリに保険サービスポータルを新設

23年10月

- ✓ マーケティングソリューション収入は順調に拡大
- ✓ パートナーの課題をバリューチェーン全体のDX支援により解決

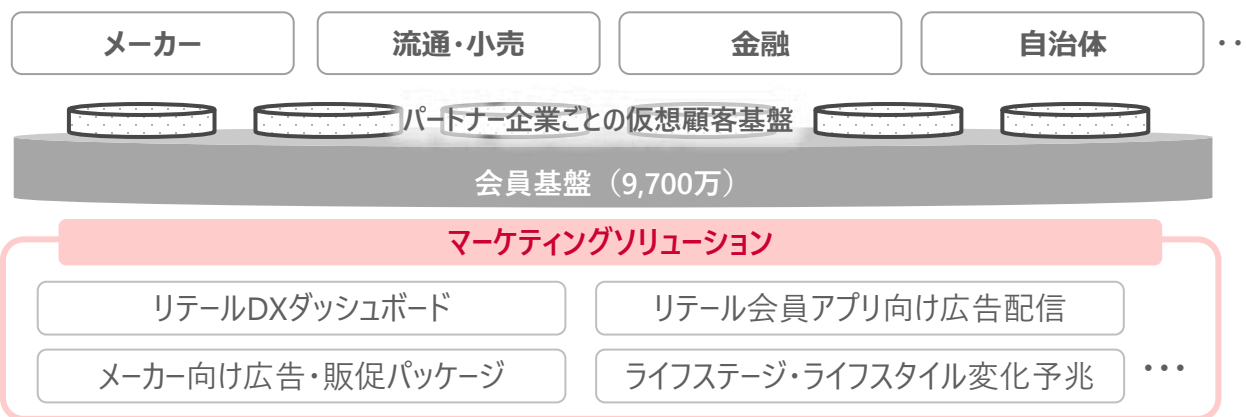
## マーケティングソリューション収入

(単位：億円)



## パートナーの課題をバリューチェーン全体のDX支援により解決

業種業態別にソリューションを展開し、順調に事業を拡大



インテージホールディングスと資本業務提携による提供価値の進化



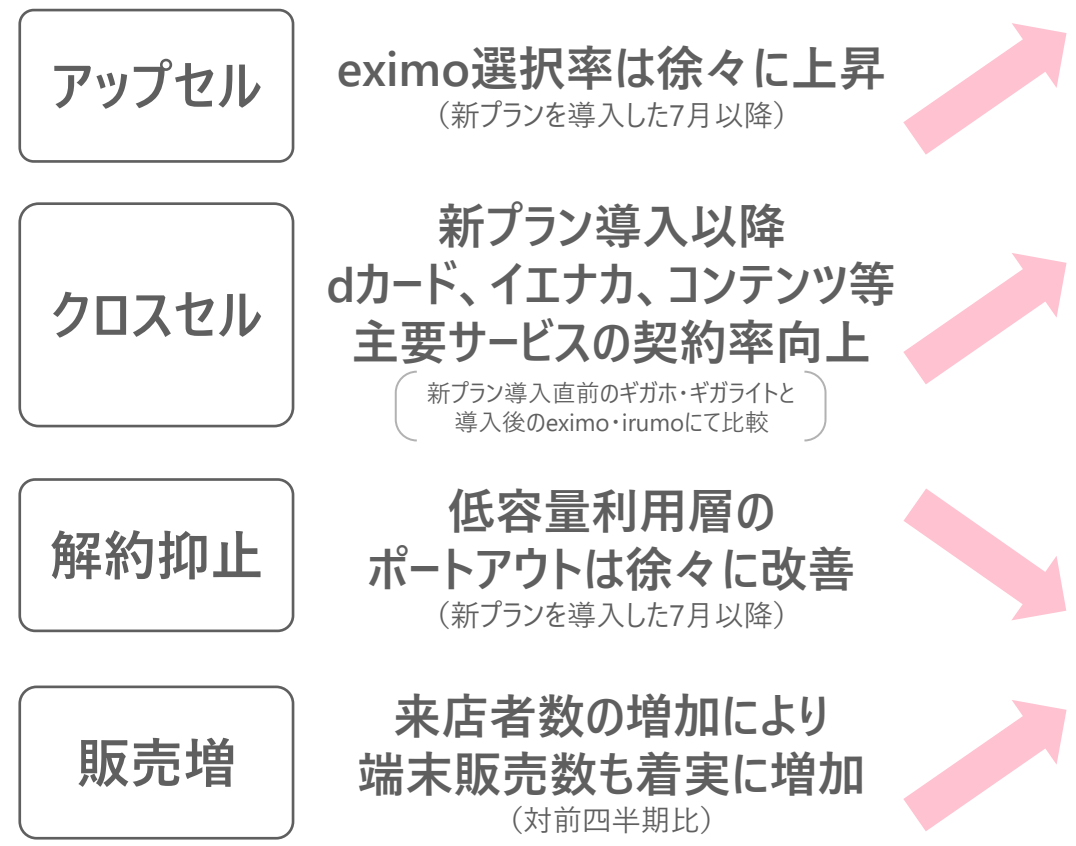


✓ お客さまのライフスタイルに応じたサービスミックス提案の強化と、eximo・irumoの投入によりアップセルやクロスセル等が改善

### サービスミックス提案の強化



### 新プランの投入とサービスミックス提案の効果



✓ ネットワーク高度化に向けた取組みを継続

非地上系ネットワーク

静止衛星(GEO)・低軌道衛星(LEO)などを活用した地上系ネットワークとのベストミックスによるサービスとエリアの提供

「ワイドスターⅢ」

23年10月提供開始

- ドコモ自社運用の静止衛星により日本全域をカバー
- 下り最大1.5Mbps通信(CA※1エリアでは、下り最大3Mbps通信)
- スマホをハンドセット代わりに利用可能
  - 日本全土および日本沿岸から約200海里をカバー
  - 携帯電話番号(OA0)による発着信が可能
  - 緊急特番(110/118/119)が利用可能



年内提供開始予定

「Starlink Business」

STARLINK

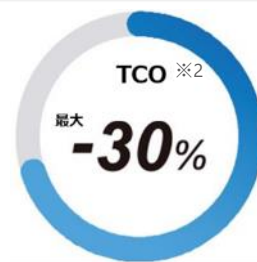
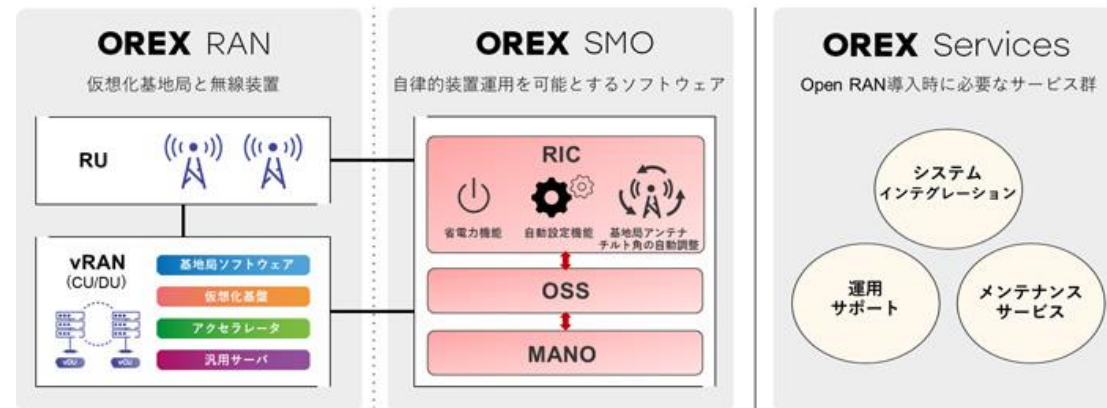
- 企業や自治体のBCP・災害対策や一次産業のDX化を推進

※1 CA (Carrier Aggregation) :複数の周波数帯を同時に使用することで、通信速度の向上や、安定した高速通信を実現する技術

OREX

「OREX®」のオープンRANサービスラインアップを発表  
自社での活用や、海外通信事業者に対する支援を推進

OREX Packages

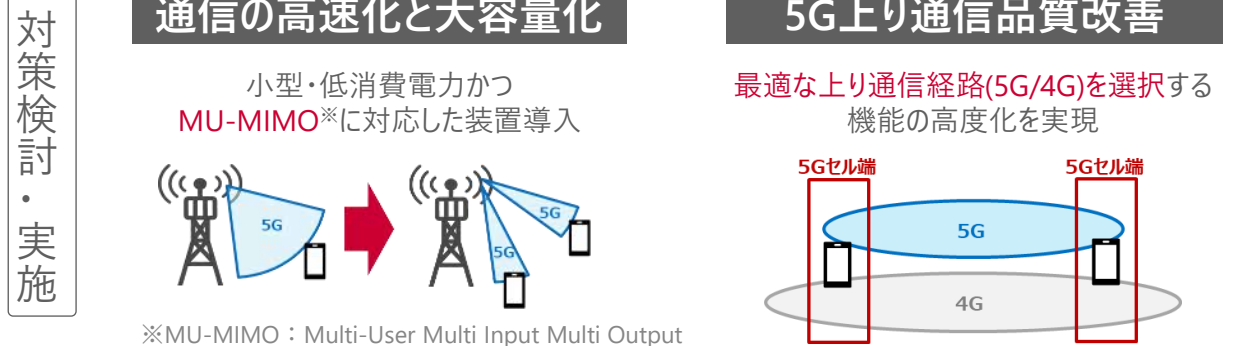


※2 TCO (Total Cost of Ownership) : ネットワーク網運営の維持・管理に関わる総費用

# モバイルアプリケーション利用時のユーザー体感の改善に向けた取り組み

## 継続的なエリア品質改善対策

品質確認・対策検討・対策実施の繰り返しを徹底し、日々変化するエリア状況に対応



## 「点」と「線」への集中対策

「点」での対策と「線」での対策を組み合わせた集中対策を早期に実現

需要増を見据えた300億円の投資を実施

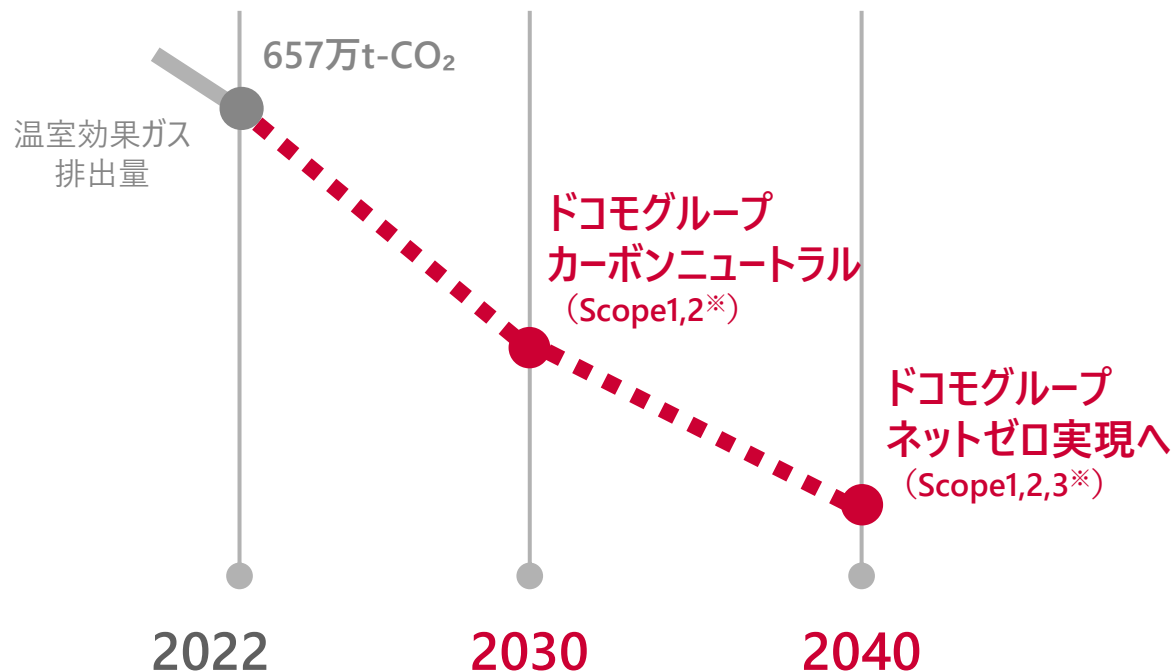


✓ 自社の「2030年カーボンニュートラル宣言」から、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量削減をめざす「2040年ネットゼロ宣言」へ

サプライチェーン全体の「2040年ネットゼロ」をめざす

サプライチェーン・社会の排出量削減に向けた取組み

温室効果ガス排出削減目標をサプライチェーン全体(Scope1,2,3※)に拡大し「2040年ネットゼロ」をめざす



※ Scope1,2,3 : Greenhouse Gasプロトコルに準ずる

23年9月提供開始



温室効果ガス排出量可視化ツール「CO2MOS™」および分析支援コンサルを提供

24年度開始予定



液冷方式サーバー機器に対応した超省エネ型データセンターサービス「Green Nexcenter™」を展開予定

23年1月より提供



日常生活における環境貢献度を可視化するサービス「カボニューレコード®」

22年10月より提供



従業員向けの「Green Program for Employee™」を提供

あなたと世界を変えていく。

<sup>NTT</sup>  
**docomo**

# 予想の前提条件その他の関連する事項

本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料に記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標又は登録商標です。